

情報処理学会論文誌「教育とコンピュータ」の 編集にあたって

長瀧 寛之^{1,a)}

1. 第5巻第2号の刊行にあたって

論文誌「教育とコンピュータ」は、今回の第5巻第2号で通算14号目の刊行となります。ひとえに投稿いただいた皆様と、丁寧な査読者の皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

本論文誌は、「教育」と「コンピュータ」がクロスする様々な研究分野が対象となるため、同じトランザクション内にもかかわらずその背景は論文ごとに実に多様です。また理論的な新規性だけでなく、それが学習や教育にどう有用かという点も重視されることから、実際の教育現場での実践を通して評価する論文も多くなります。必然的に本誌掲載の論文には、研究成果としての知見だけでなく、実際の情報教育の実践、また学習支援としてのICT活用環境の充実に役立つ情報が多数含まれております。教育×コンピュータの研究者だけでなく、教育現場に携わる多くの方々にも本論文誌が有効に活用されることを期待しております。

またそういった多様な知見を含む論文が集まるよう、本論文誌では、論文にしにくい教育実践や技術報告などであってもショートペーパーの形で積極的に評価したり、条件付き採録の回数制限をなくすことによって、論文として完成可能な研究成果を可能な限り拾い上げるという方針をとっております。一方でそれによる査読期間の長期化などで、著者・査読者双方に長期間の負担がかかるという問題もあり、編集プロセスの改善は編集委員会において継続的な検討課題となっております。

さて、本稿執筆時点ではちょうど5月からの新しい元号が公表されたところですが、編集委員会も任期満了にともなう委員の入れ替わりがあり、小生も本稿の執筆をもって任期満了となりました。いろいろ不手際で多方面にご迷惑をおかけしたことも数知れず、十分な貢献ができたとは胸を張っていえないのが正直なところですが、今後も微力ながら本論文誌の発展に向けて協力を惜しまない所存であり

ます。皆様におかれましても、論文誌「教育とコンピュータ」のますますの充実へ向けて、積極的なご投稿、また査読等へのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 本号掲載論文の紹介

本号では、招待論文2編を含む、5編の記事を掲載しています。

- 招待論文「個人ライフログを用いたe-コーチング技術」は、目標達成の支援を担うコーチングを情報技術によって支援・代行する“e-コーチング”の実際と今後の期待について、著者らによる研究事例とともに論じております。またその基礎となるコーチングの理論や技術について、さらにIoT技術等の進展により近年詳細な収集・記録が可能となったライフログがe-コーチングの発展にどのように寄与するかについても詳細に示されております。
- 招待論文「全学的学習支援システムの連携とそれに基づく安否確認システムの開発」は、大学における学習支援システムの全学的な連携について、著者の所属大学における様々な運用事例を紹介するとともに、システムの拡張性を想定した環境整備が効果を発揮した事例として、緊急時におけるサイト構築の実例を紹介しております。システム連携の関連技術やその活用における工夫点が、他大学に参考になる情報として多数まとめられています。
- 「Student Log Analysis Functions for Web-based Programming Education Support Tool pgtracer」は、著者らが継続的に開発を進めているプログラミング学習支援ツール“pgtracer”について、学習ログを様々な観点から解析するツールを開発し、その有効性について実際の授業への適用も含めて評価を行った論文です。教師が学習者の到達度を総合的・個別に把握するのに本ツールが効果的であること、解析結果のフィードバック機能が学生からのポジティブな反応を得たことから、提案手法が有用であることを示しています。
- 「大学学部生を対象とするセキュリティ教育におけるサーバ侵入演習の実践と評価」は、大学の情報専門科

¹ 大阪電気通信大学
Osaka Electro-Communication University, Osaka 572-8530,
Japan

a) nagataki@osakac.ac.jp

目における情報セキュリティ教育において、脆弱性を利用したサーバ侵入を体験する演習の提案とその実践結果について論じています。セキュリティ分野に対する知識向上における効果を確認しただけでなく、コンプライアンス教育と合わせて実施する科目設計とすることで、学んだサーバ侵入技術の悪用に対する抑止力をもたせる効果についても確認しています。

- 「小学校におけるプログラミング教育で育てる資質能力表の提案」は、小学校におけるプログラミング教育に必要となる資質・能力について整理・具体化した、「資質能力表」と「プログラミング能力を導入可能な単元一覧」を提案する論文です。実際の教育事例や文献の調査によってまとめられた表は実際の授業実践にも活用されており、一方で今後も実情に合わせた継続的な改良が必要としております。